

美濃病院・保健センターで行われる主な検診

種類	内容	対象者	場所						
			みの健康管理センター(美濃病院内) 0575-33-5050(予約制)			保健センター 0575-33-0550(予約制)			
			検査日	受付時間	自己負担金	検査日	受付時間	自己負担金	
胃がん	バリウム検査	バリウムを飲んで体の向きを変えながら胃部のレントゲン撮影をします。	S61.4.1以前に生まれた方	月~金	8:30~12:00	500円	5/22 2/15	9:00~11:00	500円
	内視鏡検査	内視鏡(カメラ)で胃の中を直接観察します。	S51.4.1以前に生まれた方(2年に1回)	木	14:30~	5,000円	×	×	×
大腸がん	便潜血検査	採便容器に自宅で2日分の便をとり提出します。	H8.4.1以前に生まれた方	裏面の「大腸がん検診」の案内をご覧ください			月~金	8:30~17:15	500円
肺がん	胸部X線検査	胸部のレントゲン撮影をします。	S61.4.1以前に生まれた方	裏面の「肺がん検診・感染症法による定期的健康診断(結核検診)のお知らせ」の案内をご覧ください					
乳がん	マンモグラフィ検査	乳房レントゲン撮影(マンモグラフィ)をします。	S61.4.1以前に生まれた女性の方	月~金	9:30~12:00	1,500円	5/22 12/15(午後) 2/15(午前)	9:00~11:00 13:30~15:30	1,500円
	超音波検査	乳房超音波検査をします。	S61.4.2~ H8.4.1に生まれた女性の方			1,000円	×	×	×
子宮頸がん	子宮の入り口(頸部)の細胞を少し採って細胞診の検査をします。	H18.4.1以前に生まれた女性の方	水・木・金 第2・4火	9:00~12:00	1,000円 ※参照	5/22 12/15(午後) 2/15(午前)	9:00~11:00 13:30~15:30	500円 ※参照	
前立腺がん	血液検査(PSA検査)をします。	S51.4.1以前に生まれた男性の方	月~金	9:00~12:00	500円	10/26・27	9:00~11:00	500円	
肝炎検査	血液検査(肝炎ウイルス検査)をします。	S61.3.31以前に生まれた方 ※過去に検査したことがない方	月~金	9:00~12:00	無料	10/26・27	9:00~11:00	無料	
貧血検査	血液検査(ヘモグロビン濃度の検査)をします。	S61.3.31以前に生まれた方で、75歳未満の方	月~金	9:00~12:00	無料	10/26・27	9:00~11:00	無料	
骨粗鬆症検査	骨密度(骨量)を測り、骨の強度を検査します。	S59.4.2~S60.4.1 S54.4.2~S55.4.1 S49.4.2~S50.4.1 S44.4.2~S45.4.1 S39.4.2~S40.4.1 S34.4.2~S35.4.1 S29.4.2~S30.4.1に生まれた女性の方	月~金	9:00~12:00	1,000円	5/22 2/15(午前)	9:00~11:00 13:30~15:30	1,000円	
ヤング健診	血液検査、血圧測定、身体測定等の検査をします。	S61.4.1~H19.4.1に生まれた方	月~金	9:00~12:00	500円	6/20~22 10/26・27	9:00~10:30	500円	

※みの健康管理センターで受診する個別検診と、保健センター等で受診する集団検診で料金が異なります。

検(健)診受診の際は、**美濃市健診受診券**を必ずお持ちください。

予約方法&受診方法

- 希望する検診を窓口や電話で予約する。
 - ▶検診の種類・希望日・名前・生年月日・住所などを伝えます。
 - ▶みの健康管理センターは、月~金(祝日除く)の午後1時から午後5時の間におかけください。
- 予約した検診日に自己負担金や健診受診券など、必要なものを持って検診場所にお越しください。

がん検診における注意事項

- ▶対象者は受診日に美濃市に住民票があり、生年月日が検診対象内の方です。
- ▶公費負担(費用助成)は、検診ごとに年度(4月から翌年3月まで)に1回です。年度内2回目以降の受診については、検診費用の全額が自己負担となります。
- ▶胃内視鏡検査の公費負担(費用助成)は2年に1回です。
- ▶次の方はがん検診の受診対象外となります。
 - ①検診部位の病気で治療中・経過観察中の方(治療を継続してください。)
 - ②自覚症状のある方(速やかに医療機関で診察を受けてください。)
 - ③乳がん検診の場合は、授乳中の方



知ってください!これから受ける検査のこと!

- ▶検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。
- ▶検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。
- ▶検査では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんであるのに見つけれない場合もあります。
- ▶検診は、市と各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有されます。*
- ▶精密検査にかかる費用は自己負担になります。医療機関によっては選定療養費(初診や再診のための費用)がかかる場合があります。

※精密検査の結果は市へ報告され、最初に検診を受けた医療機関にも医療機関の検診精度向上のため精密検査結果が共有されます。



胃がん検診

- ▶わが国では50歳代以降に罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ▶検診は2年に1度、定期的に受けてください。ただし、胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合は次の検診を待たず医療機関を受診してください。
- ▶精密検査は胃内視鏡検査です。

大腸がん検診

- ▶わが国では罹患する人が増加しており、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ▶検診は毎年定期的に受けてください。ただし、血便、腹痛、便の性状や回数に変化した、などの症状がある場合は次の検診を待たず医療機関を受診してください。
- ▶精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。

乳がん検診

- ▶わが国では女性のがんの中でも罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ▶検診は2年に1度、定期的に受けてください。ただし、しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液がでる、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たず医療機関を受診してください。
- ▶精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

肺がん検診

- ▶わが国ではがんによる死亡原因の上位に位置するがんです。
- ▶検診は毎年定期的に受けてください。ただし、血痰、長引く咳、胸痛、声のかすれ、息切れなどの症状がある場合は次の検診を待たず医療機関を受診してください。
- ▶精密検査はCT、もしくは気管支内視鏡などです。

子宮頸がん検診

- ▶わが国では女性のがんの中で罹患する人が多く、特に30~40歳代の女性で近年増加傾向にあるがんです。
- ▶検診は2年に1度、定期的に受けてください。ただし、月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則などの症状がある場合は次の検診を待たず医療機関を受診してください。
- ▶精密検査はコルポスコープの組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせて行います。

がん検診のデメリット

すべての検診には「デメリット」があります。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できません。検査では見つけにくいがんもありますので、すべてののがんが検査で見つかるわけではありません。また、がんだけでなく「要精密検査」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが見つかったりすることにより、結果的に不必要な治療を受けなければならない場合もあります。さらに、胃がん検診や子宮頸がん検診では、検査によって出血などが起こることがあります。しかし、がん検診はこれらの低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいために証明されているため、定期的な受診をしましょう。